

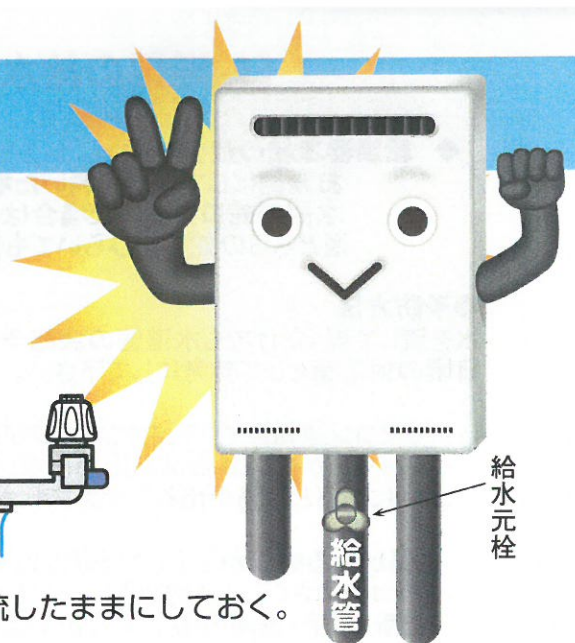
凍結を予防するために！

凍結トラブルの予防は、「**ガス給湯器本体の凍結防止**」と「**給水管の凍結防止**」が基本です。

①通水による方法

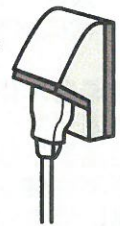
冷え込みが厳しいときは、給水および給湯配管や給水元栓の凍結を防ぐため以下の通水の処置をしてください。機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防ができます。

- ①リモコンの運転スイッチを「切」にする。
- ②ガス給湯器のガス栓を閉める。
- ③給湯栓を開いて、少量の水（1分間に約400cc…太さ約4mm）を流したままにしておく。



②凍結予防ヒーターによる方法

給湯器内の凍結予防ヒーターが、凍結の危険のある気温近くになると自動的に作動します。電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かないでください。（運転スイッチの「入・切」に関係なく凍結予防します。）



③水抜きによる方法

凍結予防をしても、厳冬期には完全に凍結を防ぐことができない場合があります。大寒波が到来した夜などは、ガス給湯器や給湯配管が凍結しないように水抜き作業を行ってください。※水抜き方法は、ガス機器の取扱説明書をご覧ください。

従来給湯器

エコジョーズ

給湯用配管 ガス管 給水用配管

ドレン管

- エコジョーズにはドレン管が接続されています。
- 給湯器のお湯が急に出なくなった場合、冷え込みにより給水配管の他にドレン管が凍結している可能性があります。

エコジョーズはドレン管が凍結する恐れがあります。

凍結してしまったら！

気温の上昇により自然に解凍するまで待つことをおすすめしますが、すぐにお湯を使いたい場合は、以下の方法をお試しください。

- ① 布を給水元栓の周りに巻く（エコジョーズの場合、ドレン管も巻く）。
- ② 50℃前後のお湯を配管に巻いた布にゆっくりかける。
- ③ 給水元栓が回るようになったら、家の給湯栓を閉める。
- ④ 布を外し、配管のまわりについた水を乾いた布でふき取る。



ご注意

火を使って温めたり、熱湯を直接配管にかけたりすると配管が損傷して漏水の原因となりますので、絶対にしないでください。